

< 学校教育目標及び経営方針 >

夢に向かって
輝く、竹田っ子

～夢に向かい、つながりの中で主体的に生きていこうとする子をめざして～

令和2年度

< めざす学校像 >

- ・子どもにとって、生き生きのびのびと学習活動ができる学校
- ・保護者や地域の方にとって、信頼と安心のできる学校
- ・教職員にとって、やりがいをもって教育活動ができる学校

< めざす子ども像 >

【学力・習慣】 自分を大切にできる子

【仲間づくり】 他とのつながりを大切にできる子

チーム竹田
見通し 絆 徹底

重点課題

- 授業改善と学習習慣の確立
- 認め合い、励まし合う仲間づくり
- 基本的な生活習慣の確立

< めざす教職員像 >

- ・子ども一人一人を大切にし、子どもと共に伸びる教職員
- ・子ども・保護者・地域から信頼される教職員
- ・絶えず研修に努め、実践力のある教職員

人権教育部

取組の重点

研究：確かな学力を身につけた子どもの育成（学力向上）
人指：豊かな人間関係を築ける子どもの育成（人権意識）
生指：目標に向かって努力する子どもの育成（生活習慣）

人権指導部

《徳》

人権指導目標 『教職員同士の人権意識を高め、
心豊かによりよい人間関係を築ける子を育む』

< めざす子ども像 > ・自分や友達の下さやちがいを認め合える子

○キズナ学習（人権学習）

豊かな心の育成

- ・男女平等にかかわる課題について
- ・障害のある人にかかわる課題について
- ・外国の人にかかわる課題について
- ・生命健康にかかわる課題について
- ・情報モラルにかかわる課題について
- ・さまざまな人権にかかわる課題について
- ・将来展望について

○総合育成
支援部との
連携
・LD等
教育支援

- ・交流教育
- ・育成教育

○社会科・道徳・総合的な学習の時間・学校行事等を通して、いじめや人権にかかわる学習を行う。

研究部

《知》

研究主題 『つながりを大事にした学級経営・生き生きと伝え合い、
「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を大切にしたい国語の授業』
～話すこと・聞くことの指導を通して伝え合う力を高める～

< めざす子ども像 >

- 低)・理由をつけたしながら話す子 ・大事なことを落とさずに聞く子
・話の内容を確かめたり分からないことを聞いたりする子
中)・大事なことが伝わるように話す子 ・要点をまとめながら聞く子
・積極的に発言したり質問したりする子
高)・聞き手の反応を確かめながら話す子 ・話の要点をまとめたり自分の考えと比べて聞いたりする子
・考えを広げたり、深めたり、新しい視点を見つけたりする子
育)・自分なりに表現する子 ・話の内容をとらえながら集中して聞く子
・相手の発言を受けて話す子

確かな学力の育成

・つながりを大事にした学級経営

- ・「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」を大切にしたい授業
- ・毎日の家庭学習、自学自習の習慣化
- ・スキルタイム、チャレンジタイムの充実

生活指導部

《体》

指導方針『一人一人の子どもと
徹底的に向き合う生活指導（児童理解）』

< めざす子ども像 >

- ・基本的な生活習慣を確立する子ども
- ・当たり前のことを当たり前のできる子ども

健やかな体の育成（児童理解を基盤とした学級経営）

- ・みそあじ運動（みじたく、そうじ、あいさつ、じかん）の徹底
- ・朝活の設定
- ・学習計画表の活用
- ・学校のきまりについての共通理解
- ・食（給食）に関する指導
- ・教育環境の整備
- ・保護者や地域の方との連携
- ・問題行動（いじめ等の防止、早期の発見・対応）

子どものおかれている状況を把握し、子どもに届く教育活動の実践

< 学年・学級経営 >